

## 令和 7 年度公金管理実績(第 3 四半期)について

公金の管理については、地方自治法等の関係法令により、最も確実かつ有利な方法等により行うと規定されています。

会計管理局では、公金の安全性・流動性の確保を大前提にしつつ、国内外の金融環境の変化に応じて、公金の運用先や運用商品の拡充など、柔軟かつ効率的な運用を行うことを目的に、「東京都公金管理ポリシー」を策定し、公金の保管・運用を行っています。

この度、令和 7 年度の第 3 四半期（10 月 1 日から 12 月 31 日まで）の公金管理実績を取りまとめましたので、お知らせします。

### 令和 7 年度公金管理実績(第 3 四半期)の概要

#### ○ 利回りの上昇・運用収入の増加

令和 7 年度第 3 四半期の公金全体の利回りは、定期性預金や債券の金利上昇を捉えた積極的な運用により 前期（令和 7 年度第 2 四半期。以下同じ）の 0.465%より 0.081 ポイント上昇し、0.546%となりました。

運用収入は 前期に比べ 7 億 3,271 万円増加し、81 億 6,120 万円となりました。四半期ごとの公表を始めた平成 14 年度以降、最高の収入額となりました。

#### ○ 基金における債券割合の段階的な引き上げ等

令和 7 年度公金管理計画に基づいて、前期に続き基金で短い年限の債券の計画的な購入等に取り組んだ結果、債券割合は前期の 32.7%から 39.4%へと上昇しました。また、定期性預金についても、市場金利の上昇を捉えた運用に努め、運用収入の増加に繋げました。

#### ○ 歳計現金等における運用

歳計現金等については、定期性預金や債券による運用を積極的に行った結果、利回りは上昇しました。

### 1 全体

	令和 7 年度 第 3 四半期(A)	令和 7 年度 第 2 四半期(B)	対前期比増減 (A-B)	(参考) 令和 6 年度 第 3 四半期(C)	対前年同期比増減 (A-C)
平均残高	5兆9,291億円	6兆3,340億円	△4,049億円	6兆4,086億円	△4,795億円
利回り	0.546%	0.465%	0.081 ポイント	0.138%	0.408 ポイント
運用収入	81億6,120万円	74億2,849万円	7億3,271万円	22億2,989万円	59億3,131万円

## 令和7年度公金管理実績(第3四半期) 内訳

### 2 内訳

#### (1) 歳計現金等

	令和7年度 第3四半期(A)	令和7年度 第2四半期(B)	対前期比増減 (A-B)	(参考) 令和6年度 第3四半期(C)	対前年同期比増減 (A-C)
平均残高	1兆5,578億円	1兆8,340億円	△2,762億円	1兆7,319億円	△1,741億円
利回り	0.349%	0.306%	0.043 ポイント	0.116%	0.233 ポイント
運用収入	13億6,938万円	14億1,289万円	△4,351万円	5億779万円	8億6,158万円

- 前期中の特別法人事業税の支出等により、期首残高が前期を下回ったこと等の影響から、平均残高は前期より減少しました。一方、国債及び定期性預金による積極的な運用を行った結果、利回りは上昇しました。

#### (2) 基金

	令和7年度 第3四半期(A)	令和7年度 第2四半期(B)	対前期比増減 (A-B)	(参考) 令和6年度 第3四半期(C)	対前年同期比増減 (A-C)
平均残高	3兆7,358億円	3兆8,287億円	△929億円	3兆8,980億円	△1,622億円
利回り	0.628%	0.538%	0.090 ポイント	0.149%	0.479 ポイント
運用収入	59億1,451万円	51億9,038万円	7億2,413万円	14億6,449万円	44億5,002万円

- 減債基金等の取崩により、平均残高は前期より減少しました。一方、定期性預金の金利上昇等を捉えた積極的な運用を行った結果、利回りは上昇しました。

#### (3) 準公営企業会計資金

	令和7年度 第3四半期(A)	令和7年度 第2四半期(B)	対前期比増減 (A-B)	(参考) 令和6年度 第3四半期(C)	対前年同期比増減 (A-C)
平均残高	6,355億円	6,713億円	△358億円	7,787億円	△1,432億円
利回り	0.548%	0.488%	0.060 ポイント	0.131%	0.417 ポイント
運用収入	8億7,732万円	8億2,521万円	5,211万円	2億5,761万円	6億1,971万円

- 企業債の償還等により、平均残高は前期より減少しました。一方、国債及び定期性預金による積極的な運用を行った結果、利回りは上昇しました。

※詳細は下記 URL をご覧ください。

<https://www.kaikeikanri.metro.tokyo.lg.jp/koukinkanri>

※計数については、表示単位未満を四捨五入し端数調整をしていないため、「1 全体」と「2 内訳」の(1)～(3)の合計とは一致しない場合があります。

問合せ先

会計管理局管理部公金管理課 電話03-5320-5918

## <令和7年度の取組>

各国の通商政策等の展開をはじめ世界経済の先行きを巡る不確実性は高いとの見通しもある中、令和7年度公金管理計画に基づき、外部有識者の知見も活用しながら、安全性と流動性を確保した上で、一層の効率性の向上を目指した保管・運用を実施していく。

(参考)

・令和7年度公金管理計画（令和7年3月31日公表）※抜粋

## 令和7年度公金管理計画の策定について

### 令和7年度公金管理計画のポイント

#### 1 経済・金利動向を踏まえた計画の方向性

- 当面の間は、国内金利が徐々に上昇していく状況が続くものと想定
- 国内外における経済のリスク要因が、金融機関等の経営に与える影響を注視  
⇒ 金利の動きを的確に捉えるとともに、リスク対応を行いながら、  
安全性と流動性を確保した上で、一層の効率性の向上を目指した保管・運用を実施

#### 2 令和7年度における具体的な取組

- 基金…① 債券割合の段階的な引き上げ  
② 購入時期の計画的な分散
- 歳計現金等…短期の債券を導入

#### ■ 令和7年度 公金の平均残高見込み

歳計現金等・基金・準公営企業会計資金の合計 約5兆9,700億円

##### 1 歳計現金等

- 資金状況および保管方法
  - ・ 令和7年度 年間平均残高見込み 約1兆7,300億円
  - ・ 運用可能資金は、定期性預金を基本としつつ、国庫短期証券での運用も導入

##### 2 基金

- 基金残高および運用方法
  - ・ 令和7年度 年間平均残高見込み 約3兆5,800億円
  - ・ 積立及び取崩の予定を精査しつつ、債券の割合を段階的に引き上げ  
(令和7年度：35%程度、令和8年度：40%程度を想定)

##### 3 準公営企業会計資金

- 資金残高および運用方法
  - ・ 令和7年度 年間平均残高見込み 約6,600億円
  - ・ 運用可能資金は、定期性預金を基本としつつ、一部、債券も取り入れ運用

※計画の詳細は下記 URL をご覧ください。

<https://www.kaikeikanri.metro.tokyo.lg.jp/koukinkanri>